

## 高導電コーティング剤 デナトロン Type-P TX-401

- ポリチオフェン系導電性ポリマー(PEDOT:PSS)をベースとした高導電コーティング剤です。
- 塗工膜厚を調整し乾燥することで導電性能の調整が可能です。
- 繊維に含浸させ繊維電極を作製することが可能です。



### 液特性

項目	代表値	
外観	濃青色	
粘度	< 100 mPa・s	
pH	6 - 9	
固形分	4.0%	
保存安定性	25℃	6か月以上
	40℃	3か月以上

### 塗工膜厚別の膜特性 (PETフィルムへの塗工例)

項目	水準1	水準2	水準3	水準4
デナトロン使用量 g/m <sup>2</sup>	4	12	26	34
全光線透過率 %	98.2	88.5	74.4	65.8
初期表面抵抗率 Ω/sq.	500	160	80	60

### 液の作製から塗工について

①狙いのデナトロン使用量を計算し所定の膜厚で塗工して下さい。

※例えば26g/m<sup>2</sup>を塗りたい場合

原液を塗工膜厚26μm(26g/m<sup>2</sup>)で塗工した際の使用量は10g/m<sup>2</sup>です。

②130℃3分程度で乾燥してください。

※乾燥オープンの能力によっては、乾燥不足が原因で狙いの物性が出ないことがあります。その場合は乾燥温度・時間を上げるなどし、表面のタック性が無くなるまで乾燥して下さい。

ご紹介いたしました各物性・データにつきましては、現時点での情報を基にした参考値・代表値となっております。品質を保証するものではありませんので、予めご了解をお願いいたします。ご使用の際にはSDS(安全データシート)をご参照の上、ご安全にご使用ください。